

オーブンレンジ

CFM-CT161

取扱説明書



この製品は、海外ではご使用になれません
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1
使用上のご注意	7
使える容器・使えない容器	8
各部の名称	9
加熱のしくみ	11
ご使用前の準備	12
使いかた(基本操作/自動メニュー/手動調理)	14
お手入れ	30
故障かな?と思ったら	31
仕様	33
保証とアフターサービス	34
保証書	裏表紙

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

その表示と意味は、次のようになっています。

- この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

- お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。

 してはいけない 「禁止」の内容	 必ず実行していただく 「強制」の内容	 「注意をうながす」内容
--	---	---

危険



分解禁止

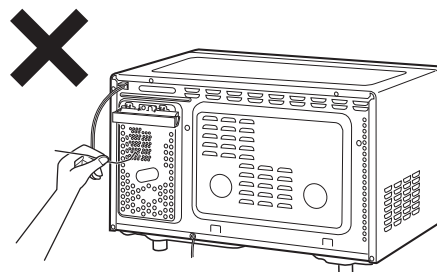
分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。



吸気口・排水口や製品のすきま、庫内の開口部に、
異物をいれない

火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

電源プラグ・電源コードは



電源プラグのほこりは定期的にとる

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災・感電の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用後1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。



持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。



電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

アースは



アースを
必ず接続

アースは必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を接地する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。
（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

調理中は

- ❗ 繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意するラップをする、加熱し過ぎないなど注意して調理してください。
- 🚫 調理中はそばを離れない
食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。

レンジ加熱中は

- ❗ 卵は必ず黄身まで割りほぐしてから加熱する
- ❗ 殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる
- ❗ びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する
破裂して、けがややけどの原因になります。
- ❗ 乳幼のミルクやベビービッド、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認するやけどのおそれがあります。
- 🚫 缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない
破裂のおそれがあります、必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- 🚫 ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない
爆発して大変危険です。

飲み物などの加熱時は

- ❗ 加熱し過ぎないように注意する
- ❗ 加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる
飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

その他

-  吸気口・排気口をふさがない
火災の原因になります。
-  屋外で使用しない
-  壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない
-  畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない
火災の原因になります。
-  水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

水ぬれ禁止

-  本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

水ぬれ禁止

-  スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
-  引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
-  油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



-  子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
-  乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。
-  扉に無理な力を加えない
変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。

-  異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

プラグを抜く

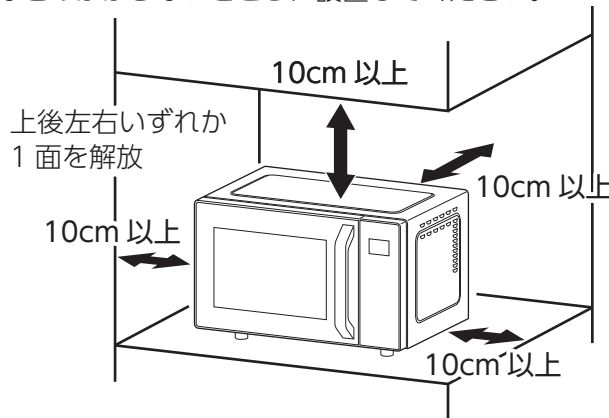
〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々電源が切れる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡使用を中止し、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

安全に設置する

- ❗ 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- ❗ 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、加熱・火災の原因になります。
風通しがよく、水などのかからないところに設置してください。



- ⊘ 肩より高い位置に設置しない
食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。
 - ⊘ 本体の上や下にもものを置かない
火災の原因になります。
-
- ⊘ 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
 - ⊘ 扉が損傷したときは使用しない
感電や電波漏れによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。
 - ⊘ 扉にものをはさんだまま使用しない
誤作動して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。

電源プラグ・電源コードは

- 🔌 プラグを抜く 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 🔌 プラグを抜く 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードは本体の下を通さない
火災の原因になります。

加熱禁止

-  レンジで金属容器や金串は使用しない
放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
アルミホイルを使用する場合は、庫内壁面に近づけないよう注意してください。
-  鮮度保持材（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない
火災の原因になります。
-  庫内が空のまま加熱しない
過熱して火災の原因になります。
-  衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない
火災や異常動作の原因になります。
-  業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

加熱中・加熱後は

-  高温になっている部分にさわらない
加熱中・加熱後しばらくは、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。

-  ラップを外すときは注意する
蒸気でやけどするおそれがあります。

食材が発煙・発火した場合は

-  扉を開けない
食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。
空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。

その他

-  庫内は常にきれいにする
発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。

2. 使用上のご注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- 無線LAN機器から離してください。
無線LAN通信機能が低下する場合があります。
- 本製品は家庭用として設計されています。
業務用など家庭用以外の用途に使用すると、短時間での破損・故障の原因になります。

廃棄について

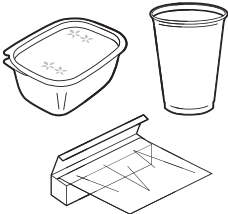
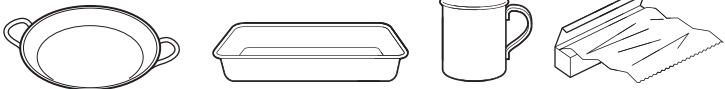
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

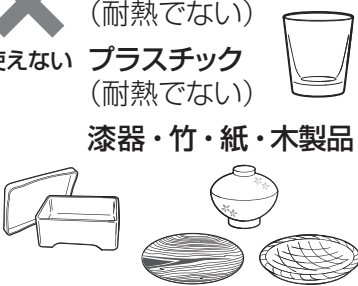
お願い

- 加熱終了後、ファンが回っているときは、電源プラグを抜かないでください。
加熱終了後、本体が高温になっているときは、電子部品を冷却するため一定時間ファンが回る場合があります。
- 自動メニューで調理後、加熱が足りないときは、手動調理で様子を見ながら追加加熱してください。

3. 使える容器・使えない容器

- 本製品で利用できる容器と使用できない容器があります。ご使用前に下の表をご確認の上、正しくお使いください。「加熱方法」について詳しくは、「加熱のしくみ (11ページ)」をご参照ください。

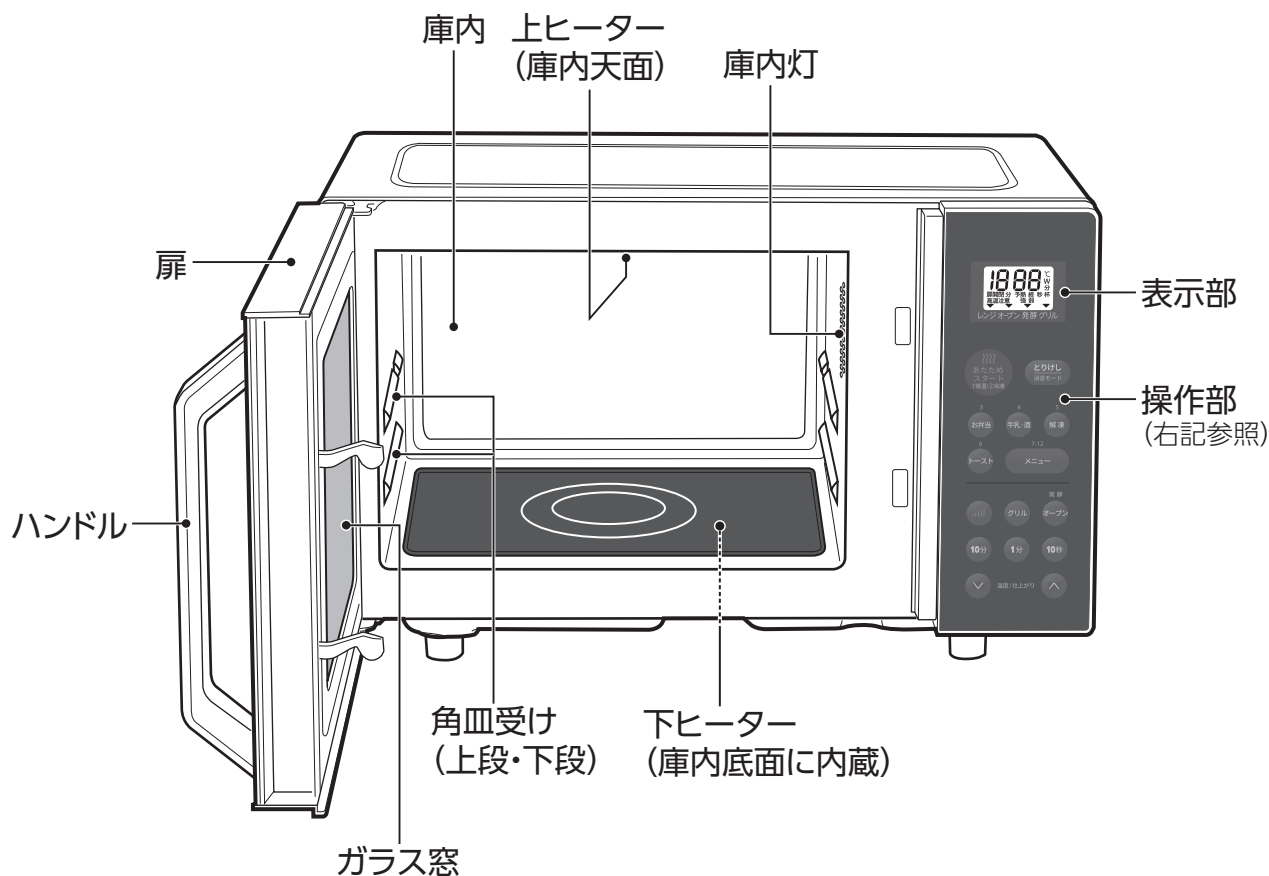
加熱方法	○ 使える容器
レンジ加熱 と ヒーター加熱	○ 耐熱ガラス 使える  ● 耐熱ガラス容器は、電子レンジに最適です。ただし、急冷・急熱で割れることがあります。
レンジ加熱	○ 耐熱プラスチック 陶器・磁器 耐熱性のあるラップ 使える  ● 耐熱プラスチックは耐熱温度が140℃以上または「電子レンジ使用可能」の表示があるもの。油脂の多い食品などは高温になるため使えません。また、ふたは熱に弱いものがありますのでご注意ください。 ● ふだんお使いの陶磁器はあらゆる料理のあたためや調理にお使いいただけます。ただし、金粉、銀粉のほどこされているものは器を傷めたり、火花が飛ぶことがありますので使わないでください。 ● 耐熱性のあるラップは、耐熱温度が140℃以上のもの。油脂の多い食品などは高温になるため使えません。
ヒーター加熱 (オープン またはグリル)	○ 金属製容器・アルミホイル 使える 

加熱方法	✕ 使えない容器
レンジ加熱 と ヒーター加熱	✕ 一般ガラス・強化ガラス (耐熱でない) プラスチック (耐熱でない) 漆器・竹・紙・木製品 使えない  ● 一般ガラスは、耐熱性がないので割れます。強化ガラスも使えません。 ● プラスチックは、溶けたり、燃えたりするので使えません。ポリスチレン・フェノール・メラミン・ユリアなども使えません。 ● 漆器・竹・紙・木製品は、耐熱性がないので、塗りがはがれたり、ひび割れを起こすことがあります。特に、針金などを使用しているものは発火(スパーク)することがあります。ただし、オープンシートは使えます。
レンジ加熱	✕ 金属製容器・金属の 絵付けをされた 陶器・磁器 アルミホイル 使えない  ● 金属製容器・金属の絵付けをされた陶磁器は、電波を反射し、調理ができません。
ヒーター加熱 (オープン またはグリル)	✕ 耐熱プラスチック 陶器・磁器 耐熱性のあるラップ 使えない  ● 耐熱プラスチックは、原則使えません。ただし、「オープン・トースト・グリル使用可」の表示のあるものは使えます。 ● 陶磁器は、原則使えません。ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。 ● ラップは溶けたり、燃えたりするので使えません。

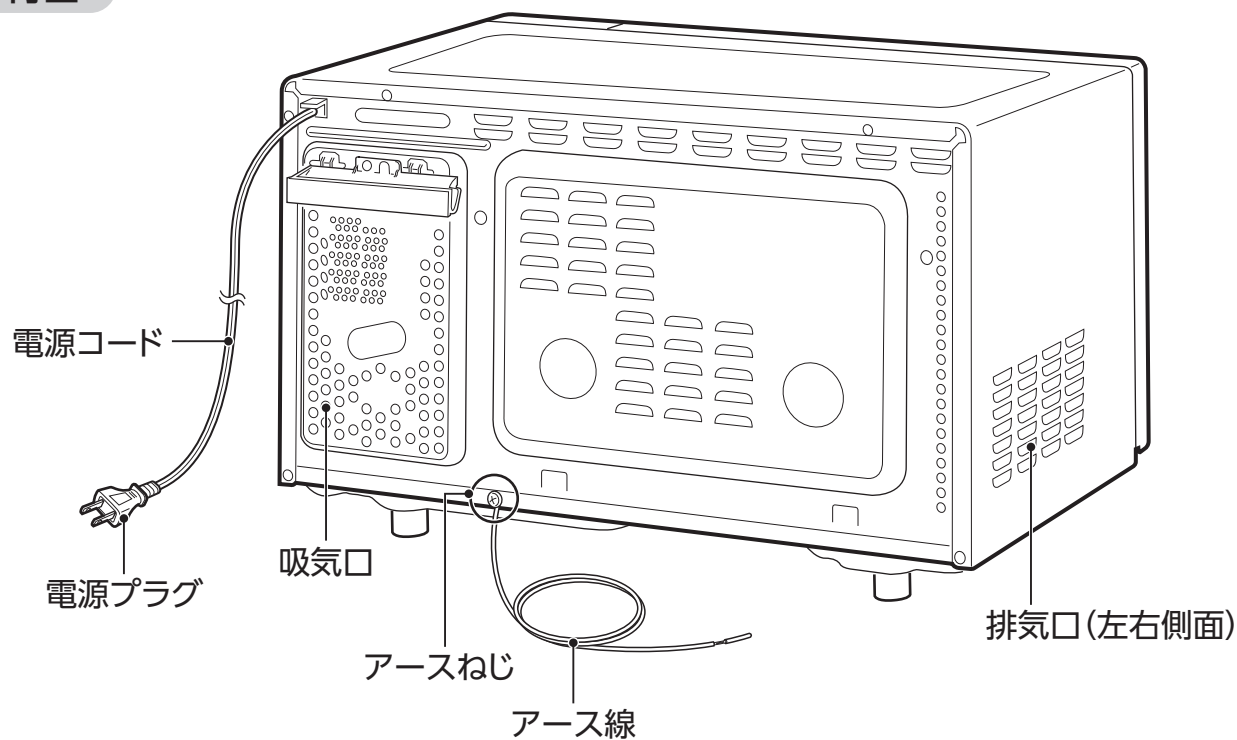
*レトルト容器などの食品によっては電子レンジで調理できる場合があります。食品の容器の表示に従って調理してください。

4. 各部の名称

本体



背面



操作部

表示部

加熱時間や出力を表示します。

※説明のためすべての文字を表示しています。



- あたためスタートボタン
 - 自動メニュー**1・2**ボタン
- 押すと加熱を開始します。

- 自動メニュー**3～6**ボタン
- 自動メニュー「3～6」で調理するときに押します。(P.15 ページ)

- 手動調理ボタン
- (レンジ／グリル／オープン)
手動で加熱方法や時間・温度を設定するときに押します。
(P.23～29 ページ)

- 温度／仕上がりボタン
- 自動メニューで仕上がり調節します。
 - 手動調理のオープン・発酵で調理するときに温度や時間を調節します。

とりけし
消音モード

とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で停止するときに押します。



- 自動メニュー**7～12**ボタン
- 自動メニュー「7～12」で調理するときに押します。(P.15 ページ)

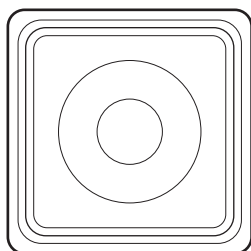


時間設定ボタン

手動調理で時間を設定するときに押します。

- 「1分」ボタン
- 自動メニュー**5**解凍／**7**半解凍／**10**お惣菜で、重量を100g刻みで設定するときに押します。
- 「10秒」ボタン
- 自動メニュー**5**解凍で、重量を10g刻みで設定するときに押します。

付属品



角皿

※電波を使用するレンジ加熱調理では、ご使用できません。

5. 加熱のしくみ

- 本製品は、「レンジ加熱」・「ヒーター加熱（グリル・オーブン）」の加熱機能であたため調理を行います。

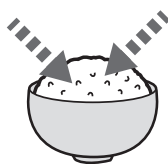
レンジ加熱のしくみ

電波（高周波）で食品を内と外から同時に加熱します。

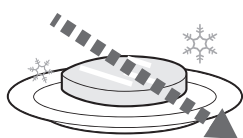
- 電波（高周波）が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性

水分のある食品は、吸収されます。



水分が凍っていると、電波が吸収されにくくなります。



耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。



金属製の器などは、反射します。



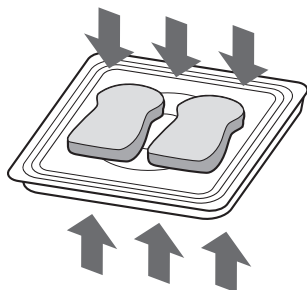
※火花が出ることがあります。

ヒーター加熱のしくみ

庫内の上・下ヒーターを使用して加熱します。

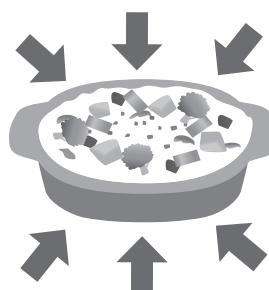
グリル加熱

上ヒーターを使用し、高温で焼き上げます。表面に焼き色をつけたり、火の通りやすい食品を調理するときに使用します。



オーブン加熱

庫内全体を上下のヒーターで一定に保ち、じっくり焼き上げます。中まで熱を通すときに使用します。



6. ご使用前の準備

1 5ページの「安全に設置する」に従って、設置する

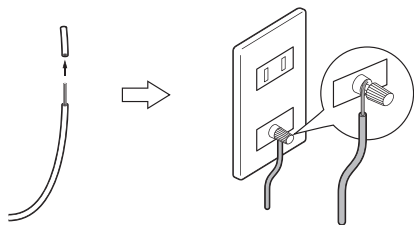
2 扉を開けて、傷防止用のビニールシートを外す

1. 扉固定用のテープを外します。
2. 扉を開けて、傷防止用のビニールシートを外します。

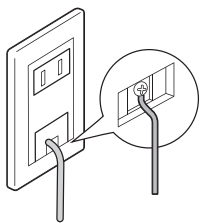
3 アース線を接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、誘導部分をアース端子に差し込んで固定します。

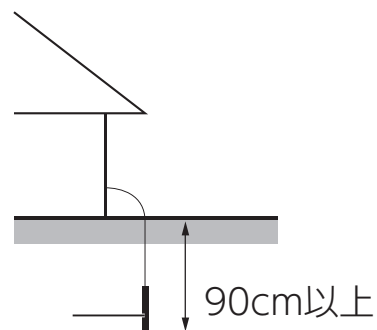


- ・ふた付きの場合は開けて接続してください。



アース端子付きコンセントがない場合

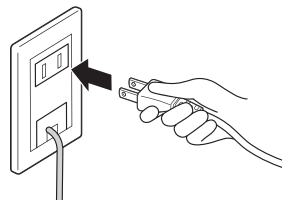
- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店にご相談ください。



警告

ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

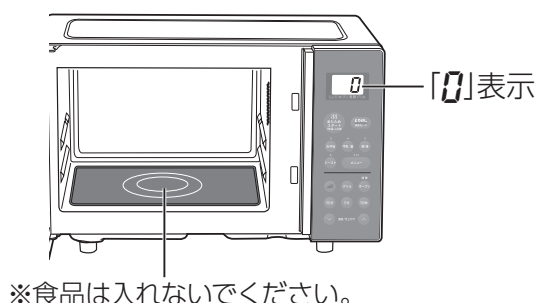


から焼きを行う

- オープンやグリルを初めてご使用になるときは、においや煙がでることがあります。ご使用前にから焼きを行ってください。
- から焼きを行うときは、必ず換気をしてください。また、小鳥、小動物は別の部屋に移してから行ってください。

1 扉を開閉して、電源を入れる

- 庫内灯が点灯し、表示部に「0」が表示されます。

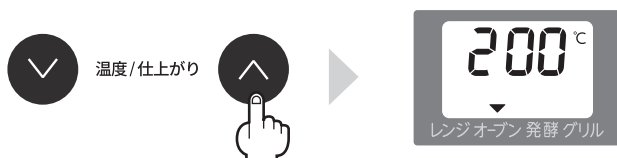


2 「オープン」ボタンを 2 回押す

- ※扉を閉めて1分以内に押してください。
- ※オープンは、「予熱無し」を選択してください。



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、温度を「200℃」に設定する



4 「時間設定」ボタンを押し、時間を「20 分」に設定する



5 「あたためスタート」ボタンを押す

- 庫内灯が点灯し、から焼きを開始します。
- 表示部に残り時間をカウントダウン表示します。



6 20分経過すると、から焼きが終了

- お知らせ音が鳴り、庫内灯が消灯します。
- ※から焼きを行ったあとも、においや煙がでることがありますが、ご使用にともない出なくなります。



7 扉を開け、温度が下がるまで待つ

- ※から焼きは、くり返し行わないでください。



注意

加熱中・加熱後は、ガラス窓、庫内などが熱くなりますのでやけどにご注意ください。

7. 使いかた | 基本操作

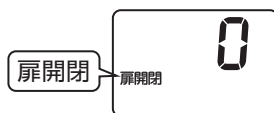
電源の入れかた

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。
※庫内灯は約10分後に消灯しますが、電源は切れません。
- ※扉を閉めたあと、無操作状態が約15分間継続すると電源が切れ、表示部が消灯します。
- ※設定中、無操作状態が約1分間継続すると表示部に「0」を表示し、すべての操作が取り消されます。

電源「入」時の表示



- 「0」を表示中に一定時間経過すると、ボタンを押しても「扉開閉」が表示され加熱ができません。その場合は一度扉を開閉してから操作を行ってください。



操作を取り消すとき／加熱を停止するとき

- 操作を取り消すときや加熱を停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。



加熱を一時停止するとき

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。

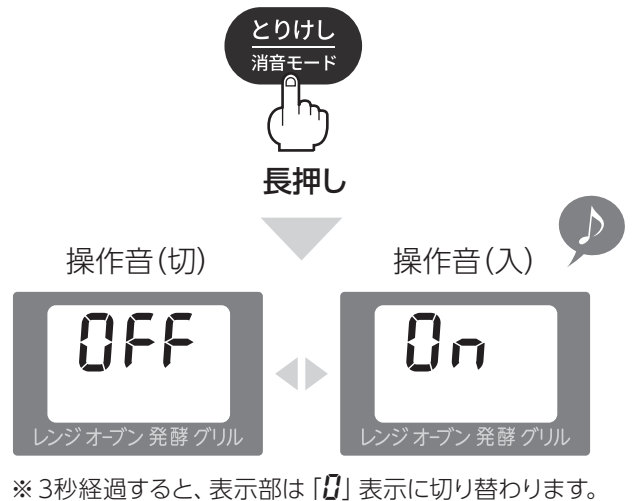


取り忘れ防止機能

- 本機は取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- お知らせ音は1分ごとに5回くり返し、5分後に電源が切れます。
- 取り忘れ防止機能は、扉を開けると解除されます。

操作音・お知らせ音を消すとき

- 表示部に「0」が表示されているときに、「とりけし」ボタンを3秒以上長押ししてください。長押しするたびに、操作音（入／切）が切り替わります。
- ※停電等から復旧したあとも、設定は記憶しています。



チャイルドロック

- お子様のいたずらや誤操作防止のため、チャイルドロックをかけることができます。
- チャイルドロックをかけると、チャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。
- ※停電等から復旧したあとも、設定は記憶しています。

チャイルドロックのかけかた

- ①「とりけし」ボタンを押しながら、
- ②「あたためスタート」ボタンを押す。



※「とりけし」ボタンから押してください。

チャイルドロック解除のしかた

上記の「チャイルドロックをのかけかた」と同じ操作で解除してください。



※「とりけし」ボタンから押してください。

自動メニュー | メニュー一覧

● 自動メニューは、時間・出力を合わせずに自動で加熱調理を行います。

自動メニュー一覧

・「メニュー」ボタン、「オートメニュー」ボタンを使用して自動調理を行うときは、下記をご参照ください。

※一度に調理できる分量は目安です。

表示	加熱メニュー	一度に調理できる分量	加熱方法	備考	参照ページ
1	常温あたため	100g～300g	レンジ	冷蔵品や常温品など	16ページ
2	冷凍ものあたため	100g～300g		冷凍品など	16ページ
3	お弁当	一人分(お弁当 1 個)		調味料の容器やまるごとのゆで卵などは取り出す	17ページ
4	牛乳・酒	1杯～2杯		加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる	17ページ
5	解凍	100g～300g(肉・魚)		肉や魚などの解凍	18ページ
6	トースト	1枚～2枚	グリル	角皿を上段に置く	19ページ
7	半解凍	100g～300g(さしみ)	レンジ	さしみなどの半解凍	18ページ
8	フライ	100g～300g	オーブン	フライや揚げ物など	20ページ
9	コーヒー	1杯～3杯	レンジ	加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる	17ページ
10	お惣菜	100g～300g		お惣菜やおかずなど	21ページ
11	葉・果菜類	100g～300g		ゆで野菜を作るとき	22ページ
12	根菜類	100g～300g		ゆで野菜を作るとき	22ページ

自動メニュー「3～12」の選択のしかた

- ・自動メニューを選択するときは、「自動メニュー 3～6」ボタン、または「自動メニュー 7～12」ボタンを押して選択してください。
- ・自動メニューを選択後、「あたためスタート」ボタンを押すと加熱を開始します。

・「自動メニュー 7～12」ボタンを押すたびに、自動メニューが切り替わります。

自動メニューの表示について

(表示例)
自動メニュー 9 で、コーヒー 3 杯を調理する場合の表示

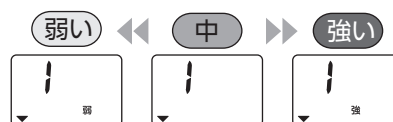
1 から 12 までの自動メニューを表示します。
分量や数量(人数)を表示します。

自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは

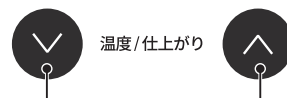
- ・自動メニューで加熱中に「温度/仕上がり」ボタンを押すと、仕上がりの強弱を調節できます。
- ・仕上がりの強弱は「弱い」～「強い」まで3段階で調節できます。

仕上がりの強弱の表示について

※お好みの仕上がりに調節してください。



温度/仕上がりボタン



「V」を押すと、仕上がりを弱めに設定できます
「^」を押すと、仕上がりを強めに設定できます

※仕上がりの調節は自動メニューを選択後、または加熱開始後10秒以内に調節できます。



温度/仕上がりボタン

自動メニュー | 1 常温あたたため・2 冷凍もののあたたため

レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。

👉「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

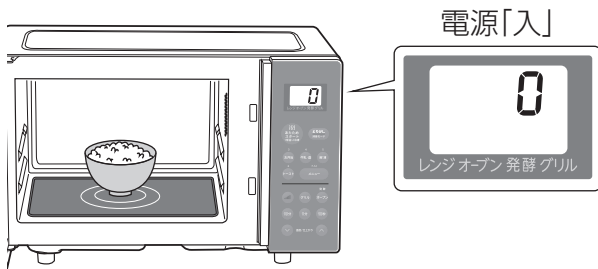


警告

- ・100g未満の食品は自動メニューで加熱しない
- ・飲みものは自動メニュー**1**、または**2**で加熱しない

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



ワンポイント

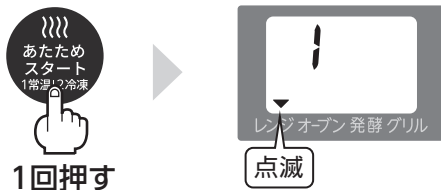
- ・ごはんはラップをせずに、固めのときは水をふりかけます。
- ・市販の調理済み揚げ物のあたためは、20ページの自動メニュー**7** (フライ) であたためると、カラッと仕上がります。

2 「あたためスタート (自動メニュー 1・2)」ボタンを1回、または2回押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。

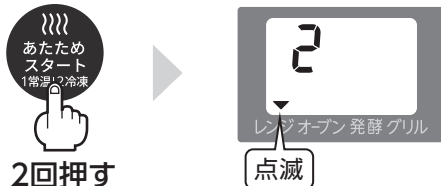
自動メニューの選択しかた

● 冷蔵品や常温品のあたためる場合 (自動メニュー **1**)



1回押す

● 冷凍品のあたためる場合 (自動メニュー **2**)

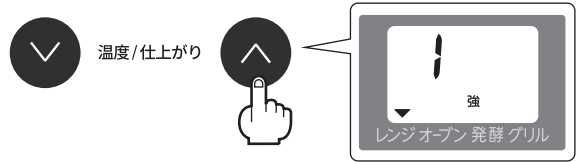


2回押す

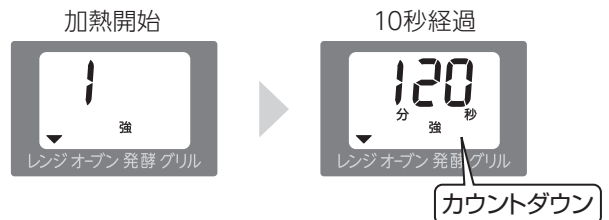
※押すたびに、「1」と「2」が切り替わります。加熱開始後、5秒以内に切り替えてください。

3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。



- ・加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

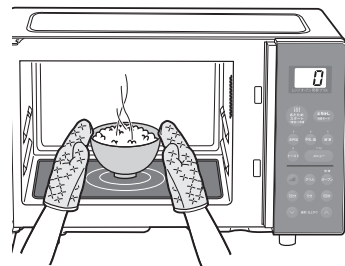
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。

👉「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

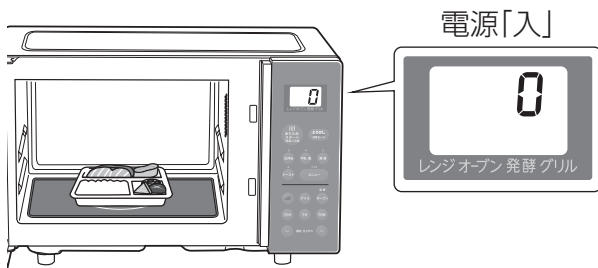


警告

- ・お弁当は、調味料の容器・アルミカップ・まるごとのゆで卵などを取り出してから加熱する
- ・飲みものや油脂の多い食品は、加熱し過ぎないように注意する
- ・飲みものは、加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる
飲みものや油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



2 「自動メニュー」ボタンを押し、「あたためスタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・自動メニューの選択のしかたは、15ページをご参照ください。

● 3 お弁当をあたためる場合



● 4 牛乳・酒をあたためる場合

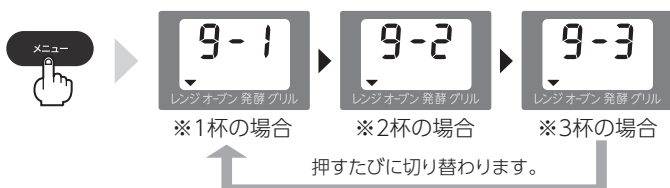
※2 杯の場合は 2 回押してください。



※1 杯の場合

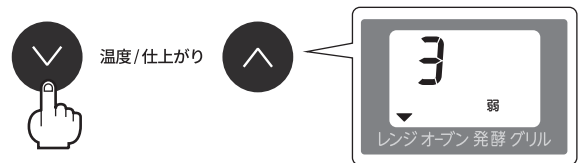
● 9 コーヒーをあたためる場合

※1〜3 杯を選択してください。



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がり調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。



※仕上がりが「弱」の場合

- ・加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。

※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

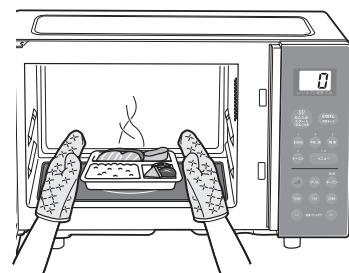
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

自動メニュー | 5 解凍・7 半解凍

レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
- ☞「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

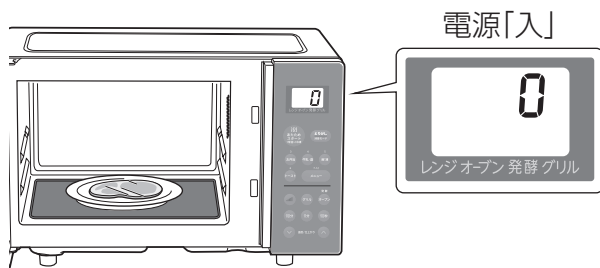
注意

- ・アルミホイルを使用するときは、庫内壁面に近づけないでください。また、鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。
- ・発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがありますので、加熱のし過ぎにご注意ください。

- ・食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーにのせたまま庫内に入れ、扉を閉めてください。発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- ・食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- ・解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- ・少量の食材 (100g未満) は、煮えや変色のおそれがありますので解凍はできません。
- ・食材の細かい部分や薄い部分にはアルミホイルを巻くと、煮えや変色をおさえることができます。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



2 「自動メニュー」ボタンを押し、5 解凍、または7 半解凍を選択する

- ・自動メニューの選択のしかたは、15ページをご参照ください。

5 解凍する場合



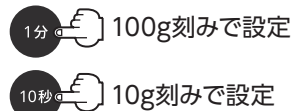
7 半解凍する場合



3 「時間設定」ボタンを押し、重量を設定する

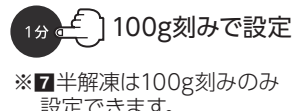
- ・重量は100g～300gの範囲で設定できます。

5 解凍の場合



※250gに設定した場合

7 半解凍の場合



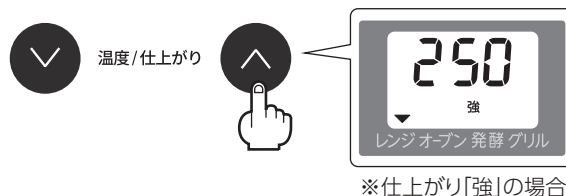
※7半解凍は100g刻みのみ設定できます。



※300gに設定した場合

4 「温度/仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

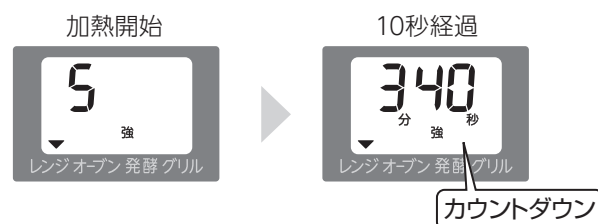
- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。



※仕上がりに「強」の場合

5 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

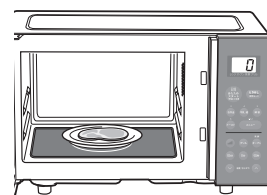
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



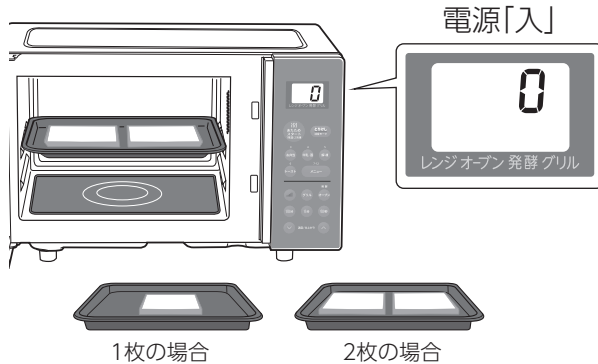
自動メニュー | 6 トースト

グリル (ヒーター) で加熱します

- ・付属の角皿を使用し、加熱途中でお知らせ音が鳴ったらパンを裏返します。

1 食パンを角皿にのせ、庫内上段に入れる

- ・並べかた (食パンは6枚切りを標準としています)
1枚: 真ん中に置いてください。
2枚: 横一列に並べてください。



2 「自動メニュー (6 トースト)」 ボタンを1回または2回押し、枚数を選択する

- ・押すたびに「6-1」と「6-2」が切り替わります。

● 1枚焼く場合

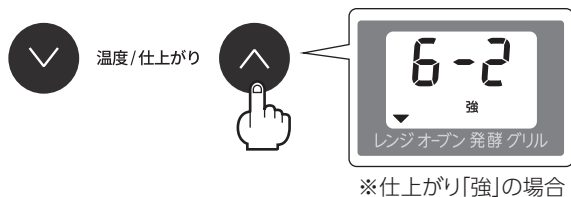


● 2枚焼く場合



3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がり調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するとき (15ページ)」をご参照ください。



4 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。
- ・パンを裏返すまでの目安時間は約4~5分です。

5 お知らせ音が鳴ったらすぐにパンを裏返し、「あたためスタート」ボタンを押す

- ・角皿や庫内が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- ・扉を閉めて「あたためスタート」ボタンを押すと加熱を再開します。
- ※扉を開閉しないと加熱を再開できません。
- ・扉を開けない状態が続くと、お知らせ音が1分おきに5回まで鳴ります。



加熱を停止するときは

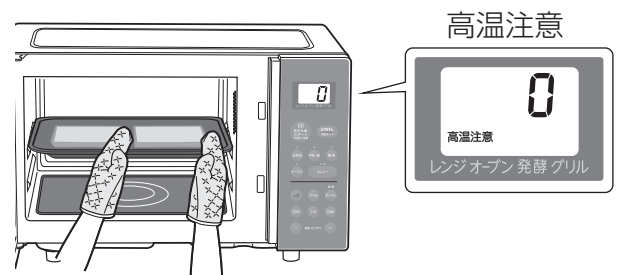
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- ・加熱終了後は表示部に「高温注意」が表示されます。



加熱終了後、さらに焼き色をつけたいときは

- ・手動調理の「グリル (26ページ)」で様子を見ながら追加加熱をしてください。

⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 食パンを取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

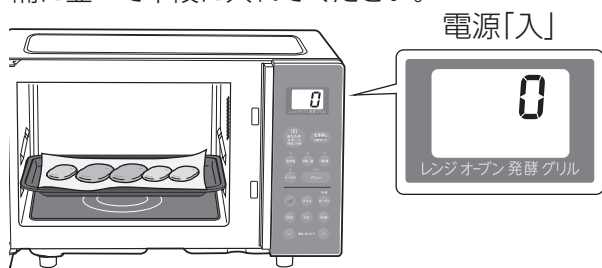
オープン（ヒーター）で加熱します

- ・ 付属の角皿を使用します。耐熱性のない容器・ラップなどは使用できません。

☞「使える容器・使えない容器（8ページ）参照」

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・ 角皿の上にオープン用シートを敷き、食品を等間隔に並べて下段に入れてください。



2 「自動メニュー」ボタンを押し、8 フライを選択する

- ・ 自動メニューの選択のしかたは、15ページをご参照ください。



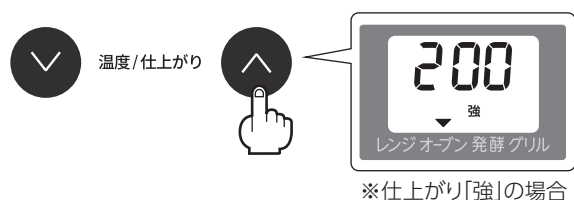
3 「時間設定」ボタン「1分」を押し、重量を設定する

- ・ 押すたびに「100g」→「200g」→「300g」→「100g」…と切り替わります。



4 「温度／仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上がりに調節する

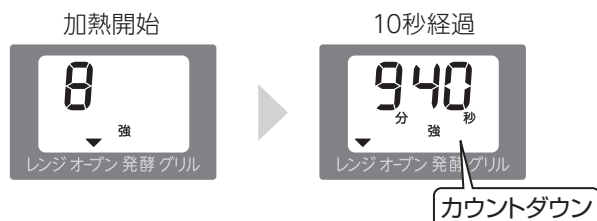
- ・ お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・ 詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは（15ページ）」をご参照ください。



5 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・ 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・ 加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。

※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

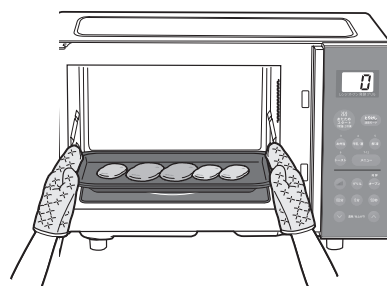
- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



加熱終了後、さらに焼き色をつけたいときは

- ・ 手動調理の「オープン 予熱無し（29ページ）」で様子を見ながら追加加熱をしてください。



注意

- ・ 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・ 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
- 👉「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

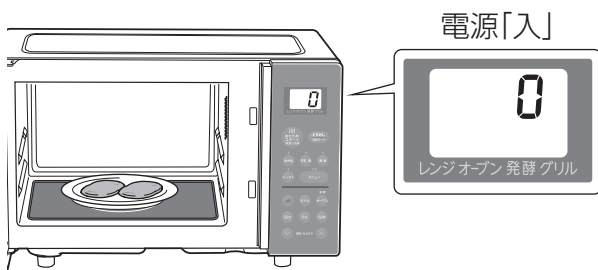


警告

- ・油脂の多い食品は、加熱し過ぎないように注意する
- ・ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



2 「自動メニュー」 ボタンを押し、10フライを選択する

- ・自動メニューの選択のしかたは、15ページをご参照ください。



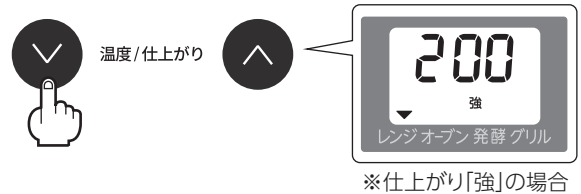
3 「時間設定」ボタン「1分」を押し、重量を設定する

- ・押すたびに「100g」→「200g」→「300g」→「100g」...と切り替わります。



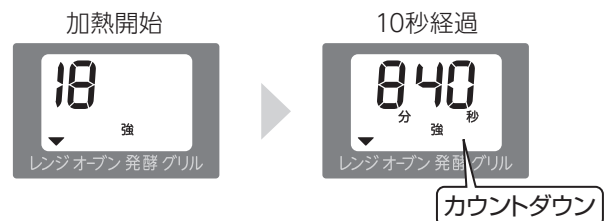
4 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がり調節する

- ・お好みで、仕上りの強弱を調節してください。
- ・詳しくは、「自動メニューで仕上りの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。



5 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上りの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

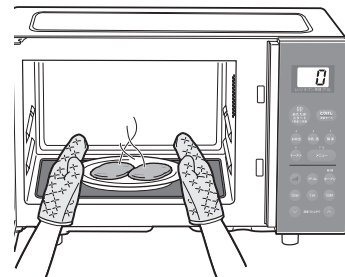
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- ・ 金属製の皿・容器などは使用できません。
- ☞「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

注意

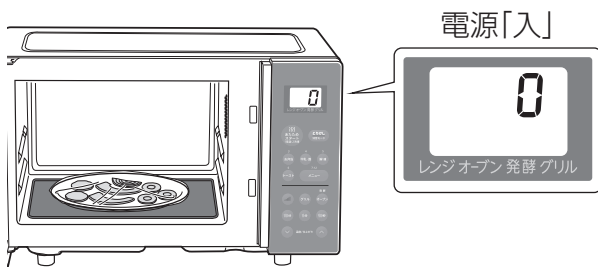
- ・ 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花がでることがあります。100gより少ないときは、手動加熱で調理してください。
- ☞「手動調理 | レンジ加熱の目安 (24~25ページ)」をご参照ください。

- ・ 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- ・ 食材は、耐熱皿にできるだけ重ならないように並べ、ラップで覆います。

※油分を含む食材を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがありますのでご注意ください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・ 食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



2 「自動メニュー」ボタンを押し、11 葉・果菜類、または12 根菜類を選択する

- ・ 自動メニューの選択のしかたは、15ページをご参照ください。

● 11 葉・果菜類をあたためる場合

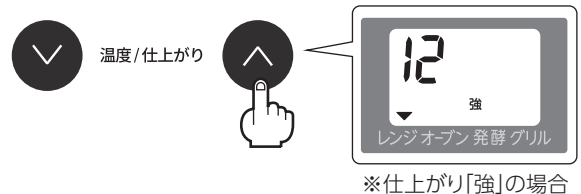


● 12 根菜類をあたためる場合



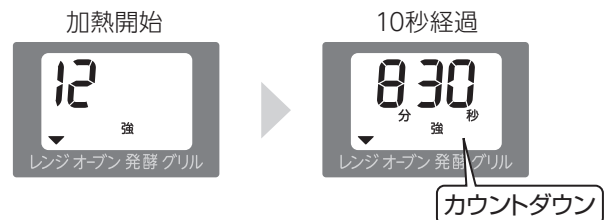
3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がり調節する

- ・ お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
- ・ 詳しくは、「自動メニューで仕上がりの強弱を調節するときは (15ページ)」をご参照ください。



4 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・ 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ・ 加熱途中で、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

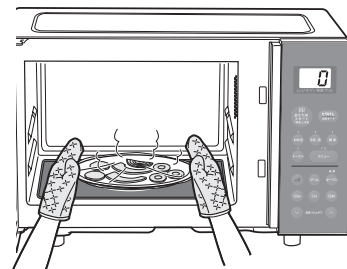
- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・ 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・ 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | レンジ(手動で出力と時間を設定して加熱します)

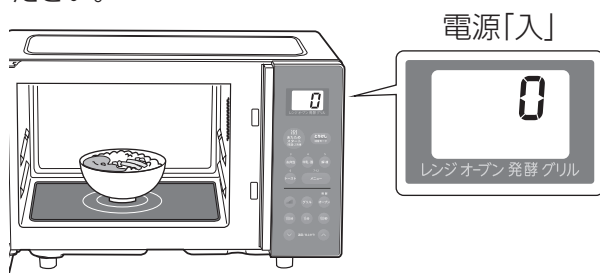
レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
☞「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

- ・量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ・ごはんやカレーなどは、平たく均一に一人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ・ラップの使いかたは、8ページ、25ページをご参照ください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置いてください。



2 手動調理の「レンジ」ボタンを押し、レンジの出力を選択する

- ・表示部に出力「600W」が表示されます。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

「レンジ」ボタン



※600Wの場合

- ・「レンジ」ボタンを押すたびに、表示部の表示が下記のように切り替わります。



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

「時間設定」ボタン



※20分に設定した場合

時間の設定について

- ・0～20分までは10秒刻み、20～60分までは1分刻みで設定できます。
- ・押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

最大設定時間について

- ・「200W」…最大60分
- ・「500W」／「600W」…最大20分
- ・「850W」…最大2分

※0～20分までは10秒刻み、20～60分までは1分刻みで設定できます。

4 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「レンジ」ボタンを押すと、設定出力が3秒間表示されます。



途中で加熱時間を増減したいときは

- ・「温度／仕上がり」ボタンを押して加熱時間を設定してください。

※1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | レンジ加熱の目安



警告

- 食品は加熱し過ぎないでください。発火・発煙の原因になります。
- まんじゅう、あんまんの「あん」は高温になると発煙・発火します。
- 根菜類（ごぼう・にんじんなど）は、水分が少なくなり、発煙・発火の原因になります。
- 飲み物は加熱し過ぎないでください。加熱後取り出したあとに、突然の沸騰（突沸）による飛び散りなどでやけどのおそれがあります。
- 卵やイカなどははじけてやけどの原因になります。加熱時間を短くするか、小さく切ったり穴をあけるなどして調理してください。
- 乾燥した食材や水分の少ない食材は、発煙・発火するおそれがあります。
- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜が浸るくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。

■ 出力600Wで加熱する場合の目安です。

- 食材の種類や加熱前の温度などで仕上がりが異なりますので、様子を見ながら加熱してください。
- 食品の分量を2倍にした場合は、加熱時間を2倍にしてください。
- 市販の冷凍食品を加熱するときは、商品に記載の出力・加熱時間をご参考ください。

食 材	分 量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
ハンバーグ	1個(80g)	－	約1分	
ハンバーグ（冷凍）	1個(80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたまま蒸らす。
焼きとり	6本(150g)	－	約1分	照りを出すため、先にタレを塗る。
てんぷら・フライ	1人前(150g)	－	約1分	キッチンペーパーなどの上に重ならないように並べる。
フライ（冷凍）	4個(100g)	－	約1分30秒	角皿に並べる。
焼そば・スパゲッティ	1人前(200g)	－	約1分30秒	加熱後かき混ぜる。パサつきがあるときは、サラダ油かバターを少し混ぜる。
ピラフ（冷凍）	1人前(250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく。
ごはん（冷凍）	1杯(150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり（冷凍）	1個(80g)	する	約1分	
おにぎり	1個(80g)	－	約30秒	
まんじゅう	1個(65g)	－	約20秒	あんが熱くなるため、控えめに加熱する。
肉まん・あんまん	1個(110g)	する	約40秒	底の紙がある場合は取り除き、さっと水にくぐらせたあと、1個ずつゆったりとラップに包む。
しゅうまい（冷凍）	1袋(230g)	する	約3分	上下両面に水をふりかけて加熱する。
みそ汁	1杯(150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
煮物	1人前(200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前(200g)	する	約1分30秒	加熱後にかき混ぜる。
丼物	1人前(350g)	する	約2分	
牛乳（冷蔵）	1杯(200mL)	－	約1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
お酒（常温）	1本(180mL)	－	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
茶わんむしのあたため	1個	－	30～60秒	様子を見ながら加熱する。
ロールパンのあたため	2個(80g)	－	約20秒	時間がたつと固くなるため、食べる直前に加熱する。
今川焼き（冷凍）	1個(90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル(冷凍)	100g	する	約1分30秒	
里いも（冷凍）	300g	－	約10分	

手動調理 | レンジ加熱の目安(つづき)

■ 出力600Wで加熱する場合の目安です。

ラップの使いかた

・ラップをするもの

- ・煮物、蒸し物、汁物、調理済みの冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

・ラップをしないもの

- ・ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合

ゆで野菜

食 材	分 量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
じゃがいも さつまいも	150g	する	約3分50秒	まるごと加熱する場合は、皿の中央を避けて置く。
にんじん	200g	する	約2分	・用途に合わせて切っておく。 ・容器に入れ、浸るくらいの水を加える。
だいこん	200g	する	約3分30秒	大きさをそろえておく。
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	芯の太いものは、あらかじめ取り除く。
ほうれん草	100g	する	約1分50秒	葉と茎を交互に重ねてラップに包む。
カリフラワー ブロッコリー	100g	する	約1分30秒	・小房に分けておく。 ・あらかじめ食塩水に浸けておく。
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、軽く塩でもんでおく。



警告

- ・繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- ・加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますのでご注意ください。

手動調理 | グリル(手動で時間を設定して加熱します)

グリル(ヒーター)で加熱します

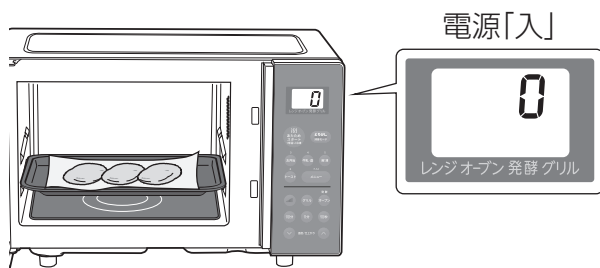
- ・付属の角皿を使用します。耐熱性のない容器・ラップなどは使用できません。

☞「使える容器・使えない容器(8ページ) 参照」

- グリル加熱では温度の設定ができません。手動で時間を設定して、仕上がりを調節してください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・角皿の上にオーブン用シートを敷き、食品を等間隔に並べて下段に入れてください。



2 手動調理の「グリル」ボタンを押す

- ・表示部が、時間設定表示に切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

「グリル」ボタン



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

「時間設定」ボタン



※20分に設定した場合

時間の設定について

- ・最大設定時間は「30分」です。
- ・0～20分までは10秒刻み、20～30分までは1分刻みで設定できます。
- ・押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

4 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。



カウントダウン

途中で加熱時間を増減したいときは

- ・「温度/仕上がり」ボタンを押して加熱時間を設定してください。

※1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

両面に焼き色をつけたいときは

- ・加熱中に扉を開け、食品を裏返してください。
- ※角皿や庫内が熱くなっていますので、ミトンなどを使用し、注意して取り出してください。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | オーブン (手動で温度と時間を設定して加熱します)

オーブン (ヒーター) で加熱します

- ・ 付属の角皿を使用します。耐熱性のない容器・ラップなどは使用できません。

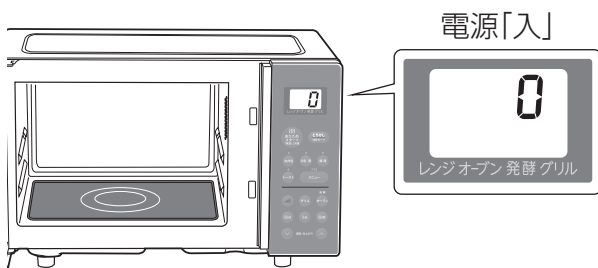
🗨️「使える容器・使えない容器 (8ページ) 参照」

予熱ありの場合

- 予熱をして庫内の温度を上げてから、調理します。

1 庫内に何も入れないで、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。



※庫内には何も入れない

2 手動調理の「オーブン」ボタンを1回押す

- ・ 表示部が、温度設定表示に切り替わります。
- ・ 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

「オーブン」ボタン



3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、温度を設定する

- ・ 温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で10℃刻みで設定できます。
- ・ 押し続けると連続して温度が切り替わります。
- ・ 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



※「160℃」に設定した場合

4 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・ 予熱を開始します。
- ・ 予熱完了までの目安時間は「200℃」のとき、約13分です。
- ※設定温度や庫内温度、室温など、ご使用環境により変わります。
- ※予熱中はファンが自動で「ON/OFF」します。



加熱を停止するときは

- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 予熱完了

- ・ 予熱が完了すると、「ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴り、表示部に「予熱終」が表示されます。
- ※予熱は約22分間保持されます。その間何もしなとお知らせ音が鳴り、設定が取り消されます。

加熱開始



「予熱終」点灯

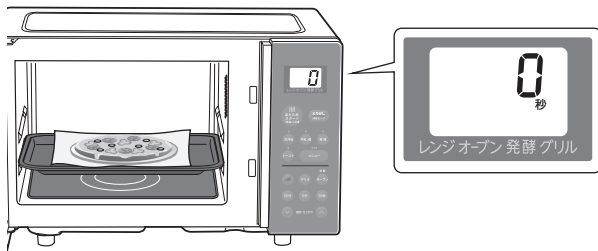


注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

6 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると、表示部が時間設定表示に切り替わります。
- ・角皿に食品をのせ、庫内に置いてください。



7 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

「時間設定」ボタン

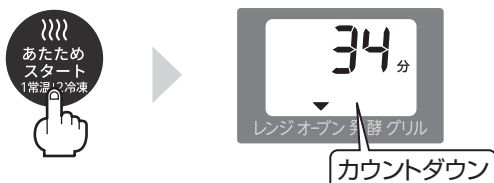


時間の設定について

- ・最大設定時間は「90分」です。
- ・0～20分までは10秒刻み、20～90分までは1分刻みで設定できます。
- ・押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

8 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
 - ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ※加熱中はファンが自動で「ON/OFF」します。



加熱を停止するときは

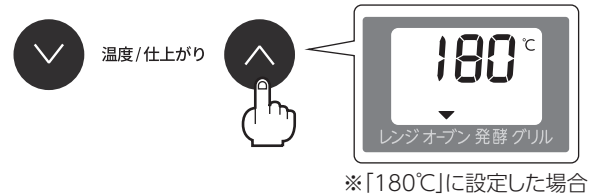
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

途中で加熱温度を増減したいときは

- ・「オーブン」ボタンを押し、3秒以内に「温度／仕上がり」ボタンを押して加熱温度を調節してください。
- ・温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で10℃刻みで設定できます。



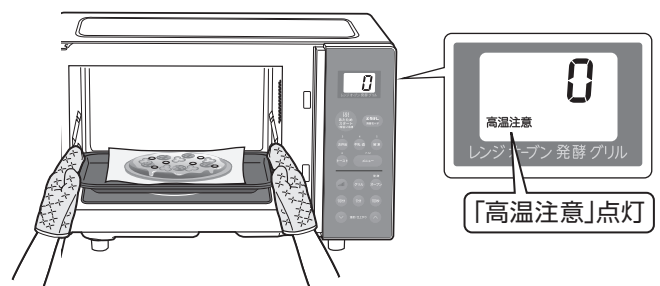
途中で加熱時間を増減したいときは

- ・残り時間を表示中に「温度／仕上がり」ボタンを押して加熱時間を調節してください。
- ※1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。



9 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- ・表示部に「高温注意」が表示されます。
- ※加熱後は一定時間ファンが回る場合があります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

オーブン(ヒーター)で加熱します

- ・付属の角皿を使用します。耐熱性のない容器・ラップなどは使用できません。

☞「使える容器・使えない容器(8ページ) 参照」

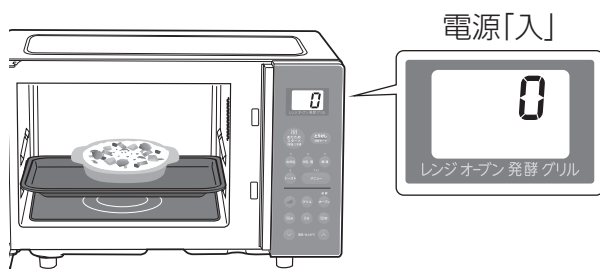
予熱なし・発酵の場合

- 予熱をせずに加熱を開始します。調理後、庫内の温度が上がっているときや、食品を低温から調理するときに使用します。

※表示部に「C21」「高温注意」が表示されたら「とりけし」ボタンを押し、扉を開けて庫内や容器を冷ましてください。庫内温度が高いと発酵がうまくできません。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・角皿に食品をのせ、庫内に置いてください。



2 手動調理の「オーブン」ボタンを2回、または3回押す

- ・表示部が、温度設定表示に切り替わります。

● オーブン(予熱なし)の場合



2回押す

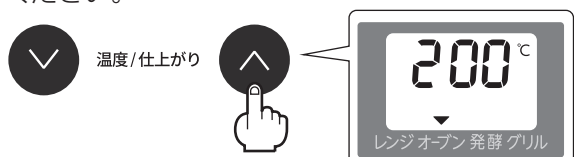
● 発酵の場合



3回押す

3 「温度/仕上がり」ボタンを押し、温度を設定する

- ・温度は、「オーブン(予熱なし)の場合:100℃～200℃の範囲で10℃刻み」、「発酵の場合:35℃または40℃」の設定ができます。
- ・押し続けると連続して温度が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



※「200℃」に設定した場合

4 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

時間の設定について

- ・最大設定時間は「90分」です。
- ・0～20分までは10秒刻み、20～90分までは1分刻みで設定できます。
- ・押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

5 「あたためスタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
 - ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ※加熱中はファンが自動で「ON/OFF」します。

加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「あたためスタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

途中で加熱温度を増減したいときは

- ・「オーブン」ボタンを押し、3秒以内に「温度/仕上がり」ボタンを押して加熱温度を調節してください。
- ・温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で10℃刻みで設定できます。

※発酵は加熱途中で温度を変更できません。

途中で加熱時間を増減したいときは

- ・残り時間を表示中に「温度/仕上がり」ボタンを押して加熱時間を調節してください。

※1回の調理で設定できる時間は、増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

6 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
 - ・表示部に「高温注意」が表示されます。
- ※加熱後は一定時間ファンが回る場合があります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

8. お手入れ

⚠ 注意

- お手入れを行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、冷めてから行ってください。感電・やけど・けがをする原因になります。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、アルカリ性洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などで拭かないでください。樹脂や塗装部分が、変色・変質する原因になります。
- ヒーターはお手入れの際、強くさわると破損するおそれがあります。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

本体 外側

本体外側は柔らかい乾いた布などで拭いてください。
汚れのひどい場合は水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、よく拭きとってください。

本体 庫内

- 庫内は、かたくしぼったぬれふきんで拭いてください。
 - 汚れが取れにくいときは、ぬれた布巾を汚れの上に置き、30分程度ふやかしてから拭き取ってください。
 - 汚れがひどいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
 - 庫内のおいが気になるときは、13ページに従ってから焼きを行ってください。
- ※庫内塗装面や周囲のシリコンパッキンが傷付かないようにお手入れを行ってください。

吸気口・排気口

柔らかい乾いた布などで拭いてください。
ほこりが吸気口などに入り込んでいる場合は、掃除機のノズルなどを使ってほこりを吸い取ります。

電源プラグ

柔らかい乾いた布などで拭いてください。ぬれた布巾で拭いたり、液体は使わないでください。

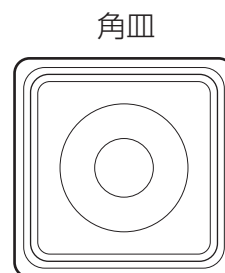
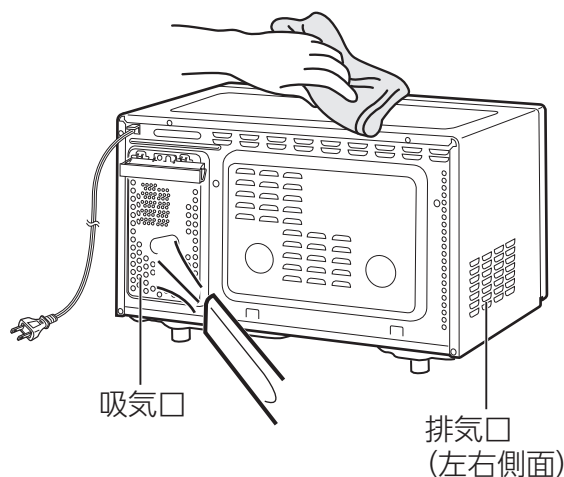
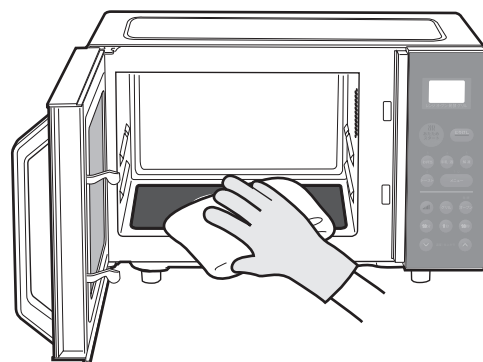


角皿

柔らかいスポンジで汚れを落としたあと、柔らかい乾いた布で水気をよく拭きとってください。汚れが落ちにくい場合は、ぬるま湯につけ置きしてから洗ってください。

※調理後、急激に冷やさないでください。蒸気や熱湯が飛びはね、やけどをするおそれがあります。また、角皿が変形する原因になります。

※お手入れのあとは水気を十分に拭き取ってください。ぬれたまま保管するとさびの原因になります。



9. 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点をご確認ください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

状 態	考えられる理由	処 置
扉を開けても、電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 電源ブレーカーが入っていない	● 安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れください。
ボタンを押しても反応しない	● 電源が切れている（表示が消えている）	● 扉を開けて電源を入れてください。
加熱中に電源が切れる（ブレーカーが切れる）	● 使用できる電気の量を超えている	● 他の電気製品の電源スイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	● 扉がしっかり閉まっていない	● 扉をしっかり閉めてください。
「扉開閉」が表示される	● 自動メニュー 1・2 のとき、扉を閉めて1分経過してから「あたためスタート」ボタンを押すと表示します。 ● 予熱完了後、または 6 トーストで裏返しのお知らせが鳴った後、扉を開閉せずにあたためスタート」ボタンを押すと表示します。	● 扉を開閉し、1分以内に操作を行ってください。
「高温注意」が表示される	● ヒーター加熱調理後など、庫内温度が高いときに表示します。	● 扉を開け、庫内や容器の温度が下がるまで待ってください。
「C21」・「高温注意」が表示される	● ヒーター加熱調理後などで庫内温度が高い場合、特定の自動メニューでは「高温注意」を表示します。このときに「あたためスタート」ボタンを押すと「C21」を表示します。	● 「とりけし」ボタンを押し、扉を開けて庫内や容器の温度が下がるまで待ってください。 ※手動調理の「レンジ」はご使用いただけます。
操作音・お知らせ音が鳴らない	● お知らせ音が「切」になっている	● 「とりけし」ボタン 3 秒間押し続け、お知らせ音を「入」にしてください。
1 分ごとに、「ピッ」と 5 回鳴る	● 調理後、食品を取り忘れている	● 食品の取り忘れ防止機能によるお知らせ音です。お知らせ音は、扉を開けると止まります。
解凍すると、むらが出て一部が煮える	● 食材に細かい部分、薄い部分がある	● 食材の薄い部分や細かい部分にアルミホイルを巻くと、煮えや変色を防ぐことができます。
	● 半解凍されてる食材を使用した	● 食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。

状 態	考えられる理由	処 置
食品が あたたまらない	● 食品がアルミホイルなどでおおわれている	● 食品がアルミホイルなどでおおうと、加熱されません。
	● 庫内や容器に水滴がついている	● 水滴に熱が吸収されると食材が充分にあたたまりません。水滴がついている場合は、拭き取ってから使用してください。
	● 冷凍品を自動メニュー「 1 常温」であたためている	● 冷凍品は熱が通りにくいため、「 5 解凍」メニュー、「 7 半解凍」メニューを使用してください。
火花が出る	● アルミホイルが庫内壁面に近い	● アルミホイルを庫内壁面から離してください。
	● アルミホイルなどに鋭利な部分がある	● アルミホイルは鋭利な部分を作らないでください。
	● 金属模様のある容器を使用している	● 金属模様のある容器は使用しないでください。
	● 庫内に食品かすなどが付着している	● 庫内のお手入れを行ってください。
加熱中に、 「ブーン」という音が 大きくなったり、 小さくなったりする	● 本製品が加熱をコントロールしているため	● 故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱中に、 「カチッ」という音が する		
加熱中に、 「ボコン」という音が する	● 調理の熱で庫内壁面が膨張するため	● 故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱が終了しても ファンの音がする	● 加熱が終了したあとも本体内部を冷却するためにファンが回転するため	● 本体内部が冷却されるまでお待ちください。 ※ファンの回転中は、電源プラグを抜かないでください。
煙が出る においがする	● 初めて使用する前に、から焼きをしていない	● 初めてご使用になる前に、から焼きを行ってください。
レンジ加熱中、 扉に水滴がつく	● 食品から出た水蒸気により、扉が結露するため	● 故障ではありません。結露した場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
「H〇〇」が 表示される 表示番号 表示例 	● 本製品が故障している	● ただちに使用を中止し、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にお問い合わせください。

それでも解決できないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

10. 仕様

品 番		CFM-CT161
電 圧		AC 100V
定格周波数		50/60Hz 共用
レンジ	定格消費電力	1400W
	定格高周波出力	850W※ ¹ 、600W、500W、200W相当 出力切替
	発振周波数	2450MHz
	タイマー	850W：2分、600W・500W：20分、200W：60分
グリル	定格消費電力	1250W
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W
	タイマー	10秒～30分
オーブン	定格消費電力	1250W
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W
	温度調節	オーブン：100～200℃、発酵：35℃・40℃
	タイマー	10秒～90分
外形寸法(ハンドル・突出部を除く)		幅 461 × 奥行き 337 × 高さ 293 mm
加熱室の有効寸法		幅 267 × 奥行き 286 × 高さ 190 mm
庫内総容量※ ²		約 16L
製品質量		約 11Kg
区分名※ ³		B
電子レンジ機能の年間消費電力量※ ⁴		61.7kWh / 年
オーブン機能の年間消費電力量※ ⁴		11.7kWh / 年
年間待機時消費電力量※ ⁴		0.0kWh / 年
年間消費電力量※ ⁴		73.4kWh / 年
電源コードの長さ		1.5m
付属品		角皿

※¹ 定格高周波出力850Wは短時間高出力機能(最大2分)であり、定格連続高周波出力は600Wです。600Wへは自動的に切り替わります。

※² 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※³ 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※⁴ 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

電源プラグをコンセントに接続した状態で、表示部が消灯しているとき(待機時)の消費電力は0Wです。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

11. 保証とアフターサービス

- 必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、8年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

オーブンレンジ 保証書

持込修理

品 番	CFM-CT161		
保証期間	本 体	お買い上げ年月日	年 月 日より1年間
お 客 様	お 名 前 ご 住 所	〒	様 電話 ()
販 売 店	店 名 住 所	電話 ()	(印)

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、下記に記載の連絡先までご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の転倒、使用場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ)一般家庭用以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ)本書のご提示がない場合。
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- *お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- *この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- *保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

商品の修理サービスについてのご相談

- 修理、お取り扱いなどのご相談は、まずは、お買上の販売店にお申し付けください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社のサービスセンターへお問合せください。

お電話でのお問合せ

comfee Japan サービスセンター
受付時間：午前10時～12時・午後1時～5時



0570-080-117 (有料)

- ・PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
- ・土日・祝日、年末年始、お盆期間は休業とさせていただきます。

Eメールでのお問合せ

cs_jp@midea.com

お問合せの際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・電話番号をご記入ください。

販売元：日本美的株式会社

大阪府大阪市淀川区宮原4丁目1-4 KDX新大阪ビル4F